



ブータン王国 (Kingdom of Bhutan)



- ブータンに対する日本の経済協力は、1964年の専門家派遣に始まり、以来、日本は長年にわたり同国の主要ドナーの一つとして支援を実施している。
- 伝統的な親日国・・・2016年は国交樹立30周年（2011年には国王王妃両陛下が国賓として訪日。）

国概要

(基礎データ)

- 面積: 38,394平方キロメートル
- 人口: 約77.5万人(2015年, 世銀資料)
- 首都: テンブー
- 民族: チベット系, ビルマ系東ブータン先住民, ネパール系等
- 言語: ゾンカ語(公用語)他, 英語も広く通用。
- 宗教: チベット仏教
(憲法上, 宗教の自由は保障されている。)
- 政体: 立憲君主制
- 議会: 二院制(上院25議席, 下院47議席)
- GDP: 約19.62億ドル(2015年, 世銀資料)
- GDP成長率: 3.3%(2015年, 世銀資料)
- 一人あたりGDP: 2,532.5ドル(2015年, 世銀資料)
- 失業率: 2.8%(2014年, 世銀資料)

※特に注がない場合は外務省ホームページをもとに記載。

(略史)

17世紀	チベットの高僧ガワン・ナムゲルが各地に割拠する群雄を征服, ほぼ現在の国土に相当する地域で聖俗の双方における実権掌握
19世紀末	東部の豪族ウゲン・ワンチュクが支配的郡長として台頭
1907年	ウゲン・ワンチュク初代世襲藩王就任
1926年	ジグミ・ワンチュク第2代国王就任
1952年	ジグミ・ドルジ・ワンチュク第3代国王就任
1972年	ジグミ・シンゲ・ワンチュク第4代国王就任
2006年	ジグミ・ケサル・ナムギャル・ワンチュク第5代国王就任
2008年	議会制民主主義を基本とする立憲君主制へ移行

援助実績(E/Nベース)

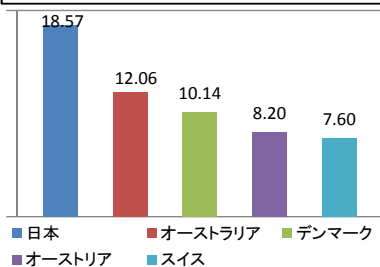
スキーム	額(累計)／人数(延べ)
円借款	57.63億円 (2014年度末時点)
無償資金協力	351.84億円 (2014年度末時点)
技術協力	178.67億円 (2014年度末時点)
青年海外協力隊	延べ407人 (2016年6月時点で16人)
シニア海外ボランティア	延べ138人 (2016年6月時点で8人)

出典: ODA国別データブック2015

青年海外協力隊事務局統計(平成28年6月末)

(注) 青年海外協力隊には, 短期派遣ボランティアを含む。

主要ドナーの対ブータン経済協力実績 (2013年, 出典: ODA国別データブック2015) (単位: 百万ドル, 支出総額ベース)



経済関係

スキーム	金額／人数(直近年)
日本からブータンの輸出	約20億7411万円 (2015年, 財務省)
ブータンから日本への輸出	2312万円 (2015年, 財務省)
在ブータン日系企業数	2社 (2015年時点, 外務省)

人的つながり

項目	人数(直近年)
ブータンにおける在留邦人数	98人 (2015年, 外務省)
在日ブータン人数	78人 (2015年, 法務省)

日本とブータン王国との協力年表

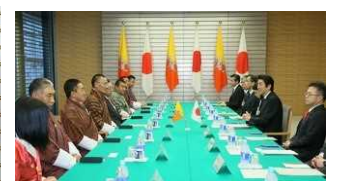
年代	案件
1964年	専門家派遣
1981年1月	日本ブータン友好協会及び神戸ブータン友好協会設立
1981年	無償資金協力開始 農業機械化支援等の基礎インフラ整備等による経済基盤整備を中心に協力を実施
1986年	外交関係樹立
1987年4月	青年海外協力隊派遣取極
1989年	第4代国王訪日(大喪の礼)
1990年	第4代国王訪日(即位の礼)
2005年	無償資金協力「農村道路建設機材整備計画」(5.21億円)
2007年	円借款「地方電化計画」(35.76億円) ブータンに対する初の円借款
2010年	無償資金協力「第二次農村道路建設機材整備計画」(5.97億円)
2011年	国交樹立25周年 第5代国王王妃が訪日(国賓)
2011年6月	円借款「地方電化計画(フェーズ2)」(21.87億円)
2013年2月	円借款「サルパン県タクライ灌漑システム改善計画」(0.46億円) 円借款「貧困農民支援」(1.1億円)
2014年	トブゲー首相がブータン首相として初めて公式に訪日(実務訪問賓客)
2016年	国交樹立30周年 ツェリン・ヤンドン第4代王妃訪日(30周年記念行事出席)
2016年3月	無償資金協力「第三次農村道路建設機材整備計画」(9.66億円)



1964年, 海外技術協力事業団(現JICA)の農業専門家としてブータンに派遣された西岡京治氏。同氏は, 28年もの間ブータンに滞在し, 農業指導を行った。西岡氏の貢献は, 農法だけにとどまらず, 食生活の改善, 架橋による流通の促進, 地域開発にまで及んだ。1980年, 西岡氏はその貢献を高く評価され, 現在の国王の父であるジグミ・シンゲ・ワンチュク第4代国王から「最高に優れた人」という意味の名誉称号「ダジョー」を, 外国人として初めて贈られた。「ブータン農業の父」として, ブータンでダジョー西岡を知らない人はいないといわれる。



「第二次農村道路建設機材整備計画」では, 同国全土で新たに1,555キロメートルの農村道路の建設と建設用機材の供与を支援。これにより, 農村道路沿線に住む約14,000世帯(約83,000人)が農村道路を利用できるようになり, 農民の所得改善に寄与した。



2014年6月の日・ブータン首脳会談の様子